

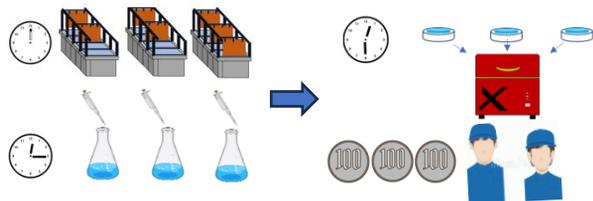


## 【AQAシリーズによるコスト削減のご提案】

他分析器よりも圧倒的に手軽な操作方法・分析時間の大幅短縮により、従来では中々対応出来なかった充実した薬液管理と薬液ランニングコストの低減が実現します。

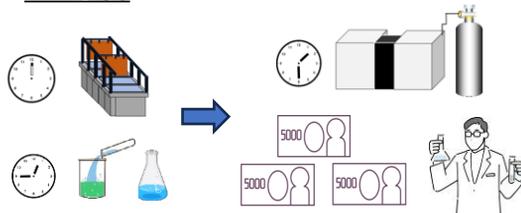
### ◎分析に掛かる時間の短縮(3検体の場合)

#### AQAシリーズ



3検体の分析で30分以内に終了  
 分析コスト約300円/3検体  
 誰でも操作・分析が可能

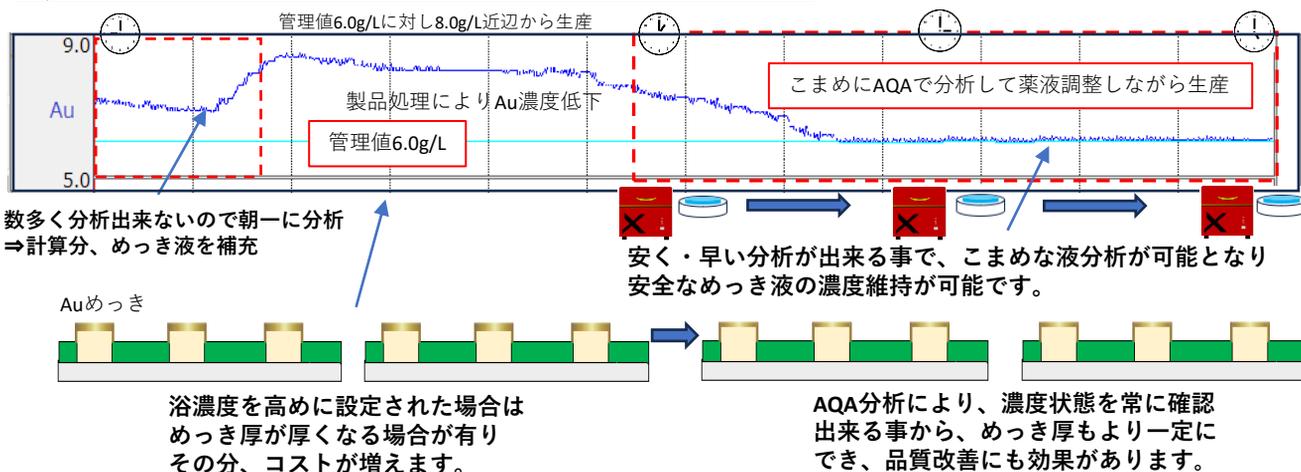
#### ICP分析



1検体の分析で約70~90分。  
 3検体だと約210~270分掛かる。  
 分析コスト約15,000円/3検体  
 分析専任者が必要

◎AQAシリーズでの圧倒的な早さ・低コスト分析で以下のコスト低減をご提案します。

### 例)電解Auめっき工程の場合 AQA導入前後 比較テスト



現状、多くのお客様が不良対策として目標値より約2~3割増しのAu濃度に設定した上で生産されています。液分析に掛ける時間が無い為に、浴濃度を高めにすることで安全性を維持されていますが、その分めっき厚が厚くなる事が有り、品質的にも薬液コストの面でも問題が有ります。



例)Auめっき厚0.12um⇒0.10umで維持できると (Au1g=¥10,000、5,000㎡生産/月、Auめっき部は全面の3%で想定)

**・Auコスト約60万円/月・約720万円/年間のコスト削減ができます。(Au1g=¥10,000で計算)**

※他、Ag、Ni、Pdめっき工程等でも同様の対応が可能で、更なるランニングコストの削減が可能です。

お客様の各めっき工程にて弊社分析器をテスト設置する事で、現状の状態等も確認でき更なるコスト削減や品質改善のご提案ができます。  
 是非、弊社分析器でのテスト実施を検討下さい。  
 (詳細は日本アクア株式会社営業部までお問い合わせ下さい。)